



「ジャイアンとぱぱ」と一緒に体を動かす子どもたち

テーマに、家庭で楽しとぱぱ」。親子の触れ合 催され、 子育てサポー が参加しました。 \mathcal{O} 親しまれています。 のイベントが7月8日、地域交流会「ぽっぽの 今回は、 ゲストは、大崎地方の男性 ムや体操などを披露し 市内の親子 家庭で楽しめ親子の触れ合い テ への親子125人-トセンターで開 レビヒー ぽの イアン Ø , 日 いを る な は、 のんで、 τ ジャ 62

南方サポ ertセンタ で 「ぽっぽの Ē

親子で楽しくスキンシ

ッ

プ

つやま」

をテーマに、

防犯や

「安全・安心なまち宣言IN

かして楽しみました。出し、参加者と一緒に換やパラパラ踊りなどどの衣装を着て、カエ 、参加者と一緒に体を動パラパラ踊りなどを繰り お子さんと触れ合う時「各家庭で少しでもいい 「各家庭で少しでも

間を持ってください」 ました。

し会などを実施します 6、親子クッキングやおは 今後もサポートセンター なで

と話し の 地域住民が参加 平成18年度 登米市津山 e

れた防犯寸劇や、小学生によ中学校児童生徒を対象に行わ

る「防犯・イカのおすし宣言」れた防犯寸劇や、小学生によ

で防犯意識を高めました。

午後からは交通安全大会を

犯教室では、

幼稚園児、

小

٠

育館で開催され、が6月29日、津山 交通安全協会津山支部主催) 全大会(津山地区防犯協会・津山地区防犯教室・交通安 津山若者総合体 約550人 しました。 「防犯・イカのおすし宣言」で防犯を呼び掛け

高めることと、

交通安全対策に対する意識を

などを目的に開催。

開催。午前の防

安全・安心なまち宣言 IN 成18年度 登米市津山地区交通安全大

共同生活で家庭の大切さを学ぶ

東和で生活体験宿泊学習

今年で7年目となる鱒淵小 年生から6年生までの児童16

活習慣を身に付け、共同生活を通して其

して基本的な生

自主性や

協調性を養ってもらうことが

人が参加しま

した

や掃除、

て共同生活を送りました。

子どもたちは、

この宿泊学

目的。

学校に通いながら洗濯 食事の準備などをし

この

い事業は、

子どもたちに

ませます。その後はグループと、まずはみんなで宿題を済真っ先に学校から帰ってくる習を楽しみにしていたようで、

安全で安心なまちを宣言

津山で防犯教室・交通安全大会

家庭では普段やることが少ない家事を

段やることが少ない家事を喜ごとに分かれて、家庭では普

んでこなしていました。

こなす子どもたち

今

回の体験を通じて、

を学びました。

し合う

大切 家事

ź

宮城県警察音楽隊とカラーガード隊によるふれあいコンサート



スカーフを使った遊びで楽しむ参加者

との質問に、横田さんは「小どのようにすればいいのか」落ち着いて聞いてくれない。 おち着いて聞いてくれない。 また、絵本に 関する 質問 てある絵本を使い、の横田敬子さん。果 ちに問い じて、 と答えて の延長で楽しませるように」 さいうちは強制せずに、 フを使って遊んだりしました。 聞かせたり、 参加した親子は、 61 ゝ ここ - ^ * 大切さをあらためて感 力した親子は、絵本の楽 たようでし いました。 かけながら本を読み 人形劇やスカー · の 店 横 い、子どもたの店横田や」 た。 遊び

昔日の芭蕉翁になりて一句詠む

登米で第55回芭蕉祭俳句大会

 $\widehat{1}$

6 8 9年)

6 月 に

「奥の

の部には、市内

に投句する一般兼題の部に1

この大会は、

俳

人松尾芭蕉

江戸時代初期の元禄2年



思い思いの気持ちを作品にする席題の 部の参加者

> 加し、118句を投句。事前投句する席題の部に59人が参 向かう途中、細道」の旅で ら開催しています。 ことを記念して、 の旅で 登米に一宿 昭和27年 一宿 年し泉 かたへ

されました。 6月25日、登米公民館で開催 第55回登米芭蕉祭俳句大会

で開催され、約20組の親子が日、石越子育て支援センター絵本とわらべうた」が6月28

参

加しました。

講師は仙台市在住の

「絵本

5高校の児童生徒2559人の部には、市内27小・中学校、30人が576句、学生兼題 から31 とに特選・秀逸・佳作が選ばめられた力作ばかり。部門ご した。 れ表彰され 作品は、 6 刀作ばかり。部門ご詠み手の思いが込 1 句が寄せられま

ました。

(Aug.2006

は大きな拍手に包まれました。 晴らしい演奏と演技に、会場 カラーガード隊によるふれあ また、宮城県警察音楽隊と

全宣言が行われました。実施。交通安全寸劇や交通安

いれました。



絵本の楽しさを親子で実感

石越で子育て講座



親子に絵本を読み聞かせする横田さん

地域の文化を育み続ける	う育み続ける
米山文化協会設立	山文化協会設立30周年記念式典
米山文化協会(鈴木敬一会	哲雄さんと二代目会長の佐々い。
長)が設立30周年を迎え、そ	木善男さんに、協会の発展、
の記念式典と祝賀会が7月2	地域文化の向上に寄与したと
日、中津山公民館で行われま	して、表彰状と記念品が贈呈
した。	されました。
同協会は、昭和52年に設立	祝賀会では、県内外のコン
して以来、毎年独自で発表会	クールなどで毎回高い評価を
を開催したり、社会福祉施設	受けている米山丸山太鼓や、
を慰問したりするなど、これ	米岡小ジュニアブラスバンド
まで地域に根ざした活動を展	部、米山中吹奏楽部による演
開しています。	奏も披露され、式典を大いに
式典では、初代会長の千枝	盛り上げました。



演奏を披露する米岡小ジュニアブラスバンド部